

間寛平芸能生活50周年+1ツアー
いくつになっても
あまえんぼう 山口公演

2021 9/26 日 ①開演13:00 ②開演17:00
渡辺翁記念会館 全席指定席

【出演者】
 〈間寛平座長新喜劇〉
 座長：間 寛平
 内場勝則 辻本茂雄 未知やすえ
 ジミー大西 はじめ 中條健一 シベリア文太
 アキ 千葉公平 宮地謙典 池乃めだか
 〈ネ タ〉テンダラー 見取り図 ニューヨーク 村上ジョージ

S席5,800円
 A席5,000円
 ※4歳以上有料、3歳以下入場不可

＜プレイガイド＞
 宇部市文化会館
 財団チケットサービス
 チケットよしもと

好評発売中!



六代目
神田伯山独演会
 2022 3/13 日 開演14:00
渡辺翁記念会館 全席指定席
 3,800円 ※未就学児入場不可

＜プレイガイド＞ 宇部市文化会館
 宇部市文化創造財団チケットサービス(WEB)
 ローソンチケット チケットぴあ

主催/KRY山口放送
 共催/宇部市文化創造財団

40年ぶりの講釈師の大名跡を襲名した六代目神田伯山の宇部初公演が決定しました！
 ※一般販売に先立ち財団友の会先行予約を実施予定です。

情報は随時HPで確認を!




プレイガイド情報 文化会館のプレイガイド機能も充実。是非ご利用ください!

中村勘九郎 中村七之助
錦秋特別公演2021
 2021 10/16 日 1回目 開演11:30
 2回目 開演15:30
周南市文化会館 全席指定席
 S席8,800円 販売期間 8月8日(日)～9月8日(水)

米米CLUB[a K2C ENTERTAINMENT TOUR 2021～大芸術祭～]
 2021 11/13 日 開演18:00
KDDI維新ホール 全席指定席
 一般9,350円 販売期間 8月8日(日)～9月8日(水)

※取扱いチケット枚数には制限がございますので、お早めにお買い求めください。
 ※ご来場前には公式HPより新型コロナウイルス感染対策および最新情報のご確認をお願い致します。

AMZモダンダンス発表会2021
 —Inori 未来へ繋ぐ—
 8月8日(日)
渡辺翁記念会館
 1部13時半開演 2部17時半開演
 要チケット TEL 090-5692-7888



家具・電化製品
 衣類・本等の片付け
 遺品整理・倉庫の解体
 墓仕舞い(お墓の撤去)
 引越しのお手伝い

不用品かたづけと
立木伐採・剪定

おかげ様で **22周年!** **あんしん屋**
 ☎0836-51-9940



ドコモスマホ教室
 ドコモの方他社利用の方どなたでも参加は無料です(^^)
 教室に参加して、携帯を使いこなしてより良い生活を手に入れましょう!
 予約は→ 

ドコモショップ宇部店
 宇部市松山町1-1-17 TEL 0120-667-727

学校法人 流川学園
原中央幼稚園
 宇部市大字妻崎開作 1119-2
 TEL 0836-41-1611 FAX 0836-43-0777



イベントガイド

2021.8・9
 VOL.
42

一般財団法人宇部市文化創造財団

〒755-0041 山口県宇部市朝日町8番1号(宇部市文化会館内) TEL0836-35-3355 FAX0836-31-7306 E-mail info@ube-bunzai.jp

～ 明治以来100年ぶりのブーム到来 ～

起源は戦国時代に将軍や大名のそばに仕えた御伽衆まで遡ると言われている講談。大手出版社「講談社」の社名の由来になっていることをご存知でしょうか?「講談社」は創業以来の方針として「おもしろくて、ためになる」を掲げています。講談は史実などをひもとき、落語のようなオチはありませんが、笑いの要素も取り入れられ、面白おかしく勇ましく、時には切なく聴く人々に感動を与えます。面白おかしく史実を知ることができる講談の魅力が、この講談社の方針にも通じるものがあるように思えてなりません。

6月に開催した「神田京子独演会」で披露された、最新のオリジナル講談「金子みすゞ～明るい方へ～」。国語の教科書にも掲載され、誰もが一度は耳にしたことがある金子みすゞの詩とその人物像に独自の視点が盛り込まれ、丁寧な注釈を交えながら進められる話。張り扇で釈台を打つ講談独特のリズムも加わり、会場の誰もが引き込まれていきました。話の中に盛り込まれる人生訓に感動が広がり、拍手が鳴り止まなかったのは言うまでもありません。

そして、来年3月にはこの講談に100年ぶりの光をあてた立役者 神田松之丞改メ「六代目神田伯山独演会」の開催が決定しました。2020年2月11日の真打昇進と同時に襲名し、近年はテレビやラジオなどにも活躍の場を広げている六代目神田伯山の宇部初公演となります。

幕末から明治時代後期までは、どこの講釈場も満員となる大入りが続いていたものの、戦後はこの伯山が「絶滅危惧職」と表現するように講談師は減少し、2011年に日本唯一の講釈場「本牧亭」が閉場すると長く低迷が続いていました。そんな伝統話芸の講談が、今再びブームとなり、その火付け役である彼は「今最もチケットがとれない講談師」と称されます。彼が学生のころ、講談を聴いた時に初心者よりも常連向けにやっている印象を受けたそうです。この経験から、冗長な部分は削り、現代の感性に合わせて作り出した講談は、初めて聴く人にもわかりやすいよう工夫され、高座に上がり、彼が張り扇をパンと打った瞬間に独特の世界へ引き込まれます。

2022年3月13日(日)は、是非、宇部市渡辺翁記念会館で六代目神田伯山の世界をご堪能ください!

詳細は随時、ホームページ等で発表させていただきますので、お見逃しなく!

1 室町末期以後、将軍・大名のそばにいて話し相手や書物の講釈などをした人。
 2 本牧亭は、東京都台東区上野にあった講談専門の寄席。2011年9月24日閉場。



